

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
 TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL: <http://www.sairingi.com/>
 携帯URL: <http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

平成29年賀詞交歓会・各賞受賞者記念祝賀会 盛大に開催される

平成29年1月6日(金)に「ラフレさいたま」櫺の間において公益社団法人埼玉県臨床検査技師会平成29年賀詞交歓会及び各賞受賞記念祝賀会が開催されました。今年は来賓、会員、賛助会員合わせて228名の方々にご参加をいただき盛大に開催することができました。

会は岡田副会長の開会の挨拶に始まり、つづいて津田会長からは年末に開催された第45回埼玉県医学検査学会が盛会裏に終わられた御礼と前日に開催された他団体の新年会で披露された話として技師法改正、更に病院検査室の精度管理に触れる法改正等について紹介し、臨床検査に関係する学会・団体が好意的に受け止めている、という話がありました。来賓の祝辞を、埼臨技名誉会員の小崎繁昭様、埼臨技賛助会員を代表して富士レビオ株式会社の遠山潤一様よりいただきました。引き続き来賓の方々の紹介が行われ、名誉会員の原 繁一様のご発声で乾杯となり、楽しく、賑やかな歓談のひとつきを過ごしました。祝賀会の中では第45回埼玉県医学検査学会の並木学会長より学会盛会の御礼の後、各賞受賞者の方々の紹介が行われました。



ここで改めて受賞者の方々をご紹介します。受賞者の皆様、おめでとうございます。

瑞宝双光章

野本 幸雄 氏 一般社団法人 埼玉県臨床衛生検査技師会 元副会長
 前原 光江 氏 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 前事務局長

公衆衛生功労者厚生労働大臣表彰

島村 益広 氏 日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所

日本公衆衛生協会会長賞

埼臨技功労者表彰

岩田 敏弘 氏 埼玉県立がんセンター

埼玉県公衆衛生事業功労賞

霜島 正浩 氏 株式会社ビー・エム・エル総合研究所
 武関 雄二 氏 自治医科大学附属さいたま医療センター
 猪浦 一人 氏 埼玉県済生会栗橋病院
 宮川 勇 氏 小川赤十字病院
 野瀬 和彦 氏 深谷赤十字病院
 下田 達夫 氏 川口工業総合病院

埼臨技会誌 優秀論文賞

西岡 純子 氏 日本赤十字社 血液事業本部

受賞者への花束贈呈があり、名誉会員の砂川 進様より受賞者への祝辞の後、受賞者の方々から謝辞をいただきました。今回も多くの方が受賞され、来賓の方々を交えての記念撮影も華やかなものとなりました。楽しく賑やかな会も終焉が近づき、平成29年度日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会の津田学会長より開催の案内と紹介を受けた濱本実行委員長から学会への協力要請が行われました。最後は祝賀会らしく神山副会長の「三本締め」で今年の会もお開きとなりました。ご出席いただいた皆様ありがとうございました。酉年のこの一年が、皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申し上げます。

(文責：長澤 英一郎)



お詫び・訂正のお知らせ

「埼臨技だより」 2016年12月号 第451号 7ページ
『第19回秩父臨床化学セミナー研修会報告』におきまして、講演4：ナイトセミナーの講師施設名に誤りがありました。正しくは以下の通りです。

(誤) 市川 智詩 (上尾中央医科グループ 上尾中央総合病院)
【正】市川 智詩 (上尾中央医科グループ 東川口病院)

講師、ならびに、施設関係者、会員の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

研修内容・感想など

講演1は肺機能検査は、とかく難解で検査の適否も判断しにくく、苦手な技師も少なくない、この呼吸機能のポイントを丁寧に並木氏に説明していただき、明日からの検査に役立つ内容であった。特には号令のポイントや、波形を交え説明していただければ判り易かった。また安全に検査を施行するポイントや患者様への接し方など、初心者でなくとも傾聴すべき講演であった。呼吸機能検査は、少ない検査回数で効率よく実施し、患者様の安全を確保しつつ、高い精度が要求される難しい検査である、今回の講演でそのコツに近づけたようであった。

講演2は技師が困っていることも熟知しており大変役に立つ石田氏の講演であった。今回、特に感じたのは、当たり前のように、いかに安全に患者移乗を実施するかその点に重点を置いた内容であった。とかく力任せに実施しがちな患者移乗だが、患者様に移乗の手順をよく説明し、協力を仰ぎ、また予め患者様の重心を移動し最小の力、最短の移動距離で、移乗を実施することが、実施者(技師)負担軽減だけではなく、患者様への安全につながる事が理解できた。またスタッフとして技師を丁寧に指導して下さった理学療法士の皆様にも感謝いたします。

講演3は接遇を患者様との不要なトラブルを防ぐ大切な項目であると考えていたが、信頼関係を築く第一歩であると教えていただいた田名見氏の講演であった。確かに呼吸機能検査一つとっても、技師がなんとなく気にくわないだけで、患者様は100%の力は出してくれない、接遇は検査精度も左右しかねない技師の基本スキルの一つであり、大切な能力であると理解できた。まさに病院(検査室)で必要な接遇にふさわしい講演であり、少なくとも接遇が、正しい言葉遣いやマニュアルに乗っ取った笑顔ではなく、患者様に好印象を与え、その後の検査を円滑に進めるためのスキルである事が確認できた。今回の講演会は安全で正しい検査のためにと云った大枠で括られていたように思われ大変参考になった。

(文責：仲野 浩)

テーマ 腹部超音波実技講習会 1

主催 生理検査研究班

実施日時：平成28年 8月20日 14時00分～16時40分

会場：埼玉県済生会栗橋病院 講義室 点数：専門教科-20点

講義 1：新しい超音波技術を診断に生かそう！

講師：岩崎 真梨子 (GEヘルスケア・ジャパン株式会社)

講義 2：腹部エコーのコツ、肝胆脾腎膵の描出 ～目的に合わせた走査を考えよう～

講師：野本 隆之 (上尾中央医科グループ 吉川中央総合病院)

講義 3：腹部血管エコー(大動脈、腎動脈)&CT、MRIの違いと腹部エコーについて理解を深める
～ CTとエコーの違いを知れば臨床でもっと役立つ ～

講師：大澤 伸

参加人数：会員54名 非会員2名

出席した研究班班員：早川勇樹 仲野浩 瀧沢義教 野本隆之 関口知詠子

研修内容・感想など

講習会1日目は3人の講師の方に講演を行っていただいた。

講演1は最新の技術として岩崎氏よりXDクリアプローブとシアウェーブのお話を中心に講義していただいた。XDクリアプローブは振動子に高密度単結晶(シングルクリスタル)を採用し、電気振動と音の変換効率に優れた探触子であり、広い深度で高密度画像が描出可能となった。肝腫瘍性病変、特にHCCではEOB造影MRIが最も信頼されている現状をお話しされ、シアウェーブ(主に肝臓の弾性・硬さを表現するエラストグラフィ)やソナゾイド造影超音波を組み合わせていかないと超音波の未来も安泰でないことを示唆された。特にシアウェーブに関してはスクリーニングとして行っていくことが肝要とのことであった。

翌日の実習でXDクリアプローブを使用した。深部でも精細な画像が描出されていた。超音波メーカーは、より高精細な画像を構築する技術を開発し次々と製品化していく。検査技師が新技術を理解し、日々の超音波所見にいかにか反映していくかは大きな課題であり、また容易

ではない。今回、新しい技術の話聞き大変勉強となった。

腹部エコーのコツ 目的に合わせた走査を考えよう 野本 隆之氏

講演2は肝臓鈍化の描出にしても走査法一つで、いくらでも鈍化様に記録できてしまう。そんなピットホールの話から、脂肪肝の肝腎コントラスト判定の注意点、胆嚢は水平断が重要でこれは短軸像とは異なる点と体位変換の重要性を野本氏より講演していただいた。腎臓に関しては全体を描出する事を、膵臓に関しては尾部描出のコツを丁寧に説明された。これらのことは、超音波のいろはではあるが、ともすると忘れがちである。十分な走査や、的確な所見の拾い上げが出来ずに報告してしまうことも多いため、我々の技術や知識の不足が超音波の限界として評価されてしまう。今回の講演はそれに警鐘を鳴らす講演であり、日々注意していかなければならない内容であった。

講演3は大澤氏より高血圧の分類、特に二次性高血圧の治療が血管性リスクの軽減につながり腎血管性高血圧の検査に被爆リスクがなく造影剤も使用せず、形態と機能の評価が可能な超音波がCT・MRI・シンチ・レノグラムに比べ優れており、腎動脈狭窄症PSVとRARを用いた評価法を丁寧に説明していただいた。大動脈では腹部大動脈瘤のチェックポイント(腎動脈の開存の有無と大動脈までの距離・血管系・動脈瘤のタイプ・総腸骨動脈の径)とステントグラフトの臨床像や留置後の経過観察のチェックポイントを説明していただいた。後半には腹部エコー全体で、CT・MRIに比べいかに超音波が優れているかと超音波のピットホールを力説された。先生の講演はポイントとピットホールを簡潔にまとめられており、明日からの検査に大いに役立つ講演であった。

今回の3講演を通し、超音波のピットホールを認識し、画像を描出しそれを的確に判断しなくてはならないことが理解できた。また、これを怠ると5年、10年後にはCT・MRIにその座を奪われてしまう可能性があるため、超音波の将来は技師の不断の努力にかかっていると考えさせられる講演であった。(文責：仲野 浩)

テーマ 腹部超音波実技講習会 2

主催 生理検査研究班

実施日時：平成28年 8月21日 10時00分～15時30分

会場：埼玉県済生会栗橋病院 講義室 点数：専門教科-20点

実技：腹部エコーのコツ、肝胆脾腎膵の描出 + α (大動脈・腎動脈)

講師：大澤 伸 (埼玉県立循環器・呼吸器病センター)

野本 隆之 (上尾中央医科グループ 吉川中央総合病院)

仲野 浩 (埼玉医科大学病院)

丸山 陽介 (国立病院機構 西埼玉中央病院)

田名見里恵 (上尾中央医科グループ 上尾中央総合病院)

参加人数：会員29名

出席した研究班班員：早川勇樹 仲野浩 瀧沢義教 野本隆之 関口智詠子 田名見里恵
丸山陽介

研修内容・感想など

講習会2日目は、昨日に引き続き埼玉県済生会栗橋病院の講堂にて腹部超音波の実技講習会を開催した。実技講習会の講師は、腹部超音波検査に携わる大澤氏と生理検査研究班から野本氏、田名見氏、仲野氏、丸山氏が担当した。

実技講習の進行は、食事摂取による臓器の観察不良を避けるため、午前胆道系と膵臓、午後肝臓、脾臓と大動脈から腎動脈の順で行った。

受講者は腹部超音波検査の経験ない方や経験1年未満の方が多かった。そこで実技講習は、腹部超音波検査の経験年数を考慮し、5つのグループに分かれ行った。

講習会参加目的は、受講者の腹部超音波検査経験年数などにより異なる。そのため講習会は、受講者の希望に沿えるよう進めた。講師の先生方には、講習会参加者に腹部超音波検査初心者の方が多いことを事前にお知らせし、探触子の持ち方、検査手順・コツ、臓器名称など基

礎事項を含めて、分かりやすい実技指導をお願いした。

実技講習会は10時より講師と受講者の自己紹介から始まった。実技講習ではタイマーにて時間を計り1人5分で交代し、質問などは随時受けた。受講者の皆さんは、熱心にメモを取るなどして、講師の話に聞き入っている姿がとても印象的であった。また、分からない点や日常の検査業務で悩んでいる点などを積極的に質問していた。

今回の講習会では、大動脈と腎動脈の実技指導を希望された方が11名おり、午後2つのグループは、血管の実技講習も行い、講習会の最後には、受講者からの総合質疑を受けて、2日間の腹部超音波実技講習会を終えた。

昨日開催された腹部超音波実技講習会1では、大澤氏と野本氏による腹部エコーのコツ、肝胆脾腎臓の抽出、腹部エコーの心得、腹部スクリーニングや腹部血管エコーなどの講義があった。本日の実技講習会は、昨日の講演で学んだ事項を復習する機会にもなった。

今回の実技講習会は、受講者からの評価も良く、非常に有意義であった。2日間の腹部超音波講習会で得たことが、明日からの腹部超音波検査業務に役立てばと思う。

(文責：瀧沢義教)

テーマ 是非とも知っておきたい輸血検査業務 ～細胞管理から移植医療まで～

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成28年12月15日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ 601号室 点数：専門教科－20点

講演1：臍帯血バンクの業務と細胞治療認定管理師のかかわりについて

講師：伊藤みゆき（日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター）

講演2：造血幹細胞移植と臨床検査

講師：田坂 大象（埼玉医科大学総合医療センター 輸血部）

参加人数：会員37名 賛助会員2名

出席した研究班班員：山田攻 渡邊一儀 神戸考裕 長谷川卓也 佐藤祥子 久保居由紀子
斎藤翔子 小林真弓 野呂光恵

研修内容・感想など

講演1では伊藤氏より細胞治療認定管理師と臍帯血とバンクについてご講演いただいた。近年、細胞療法が盛んに行われ、安全で品質管理された細胞調整が望まれている。昨年、細胞治療認定管理師制度が導入され、今後、臨床検査技師の業務拡大につながると思われた。

臍帯血移植は骨髄移植と比較して、移植までの期間が短く、GVHD（拒絶反応）の発生頻度も低いが、造血機能の回復が遅い特徴がある。日本では、臍帯血移植が急増しており、2016年度には骨髄移植数を抜くと予測されている。臍帯血の提供から移植まで、バンクの業務内容をご紹介いただき、有意義な講義であった。

講演2では田坂医師より造血幹細胞移植についてご講演いただいた。白血病では、染色体異常により予後（抗腫瘍剤の効果）が分類され、予後不良群に対して造血幹細胞移植が選択される。現在、HLA検査技術の進歩により骨髄移植の血縁ドナーとバンクドナーでは、遜色ない移植成績が得られるようになった。また、移植後の感染症ではサイトメガロウイルスによる間質性肺炎などが問題視されており、モニタリングが重要とのことであった。

染色体分析やHLA検査など、臨床検査は安全に造血幹細胞移植を施行するために多くの役割を担っている。細胞治療分野において、ますます臨床検査技師の活躍が期待される。

(文責：野呂光恵)

テーマ **検査手技の再確認！ 神経伝導検査**
～ 匠の技をライブデモ・ハンズオンで習得しよう ～

主催 生理検査研究班

実施日時：平成28年12月17日 14時30分～17時00分

会 場：戸田中央総合病院 第一会議室 点数：専門教科－20点

講 師：植松 明和（国立国際医療研究センター病院）

参加人数：会員21名

出席した研究班班員：仲野浩 家城正和 関口知詠子 丸山陽介 櫻井友加里

研修内容・感想など

植松氏の講演はNCS（神経伝導検査）の基本から注意点を丁寧に説明していただき、ハンズオンでは一般的に行われるMedian、Ulnar、Radial、tibial、Peroneal、SuralのNCS検査を、実際に見学させていただき、それぞれの検査のポイント（標的筋肉の見方、記録電極の位置、刺激部位、波形採択のポイントなど）が判りやすく、明日からの検査に大いに役立つ講演であった。特に植松氏は、MedianのMCVならば通常の母指外転筋の他に小指外転筋にも記録電極を付けることによりMartin－Gruber吻合によるエラーが一目瞭然になる事などをお話しして頂き大いに参考となった。少なくとも吻合を疑う所見の時はさっそく試すべき手技と思った。

また標的筋にはテンションを掛け、盛り上がらせて筋腹中央に一電極を、腱上(骨上)に＋電極を置く事に時間を掛けて説明していただいた。これは慣れてくるといい加減になり易い点で、この辺だろうと安易に付けている技師も少なくなく、大いに反省させられた。

NCSは誤差の大きい検査であり、その要因を順序だてて説明して下さり理解しやすかった。誤差を少しでも減らし、いかに真値に近づけるか、その方策にあふれた講演であり、明日からの検査に大いに役立つだけでなく、先生の情熱に近づける様頑張っていこうと勇気づけられた講演でもあった。
(文責：仲野 浩)

テーマ **超音波の基礎** ～ 検査に必要な基礎知識 ～

主催 生理検査研究班

実施日時：平成29年 1月14日 14時00分～18時00分

会 場：自治医科大学附属さいたま医療センター 講堂 点数：基礎教科－20点

講 演：14:00～15:20 超音波の物理

15:30～16:20 超音波装置の原理

16:30～18:00 超音波ドプラ法 他

講 師：島野 俊彰（東芝メディカルシステムズ）

参加人数：会員43名 他団体会員1名

出席した研究班班員：早川勇樹 瀧沢義教 野本隆之 田名見里恵 横尾愛

研修内容・感想など

今回の講習会は島野氏に4時間という限られた時間の中で「超音波の基礎」についてご講義いただいた。

最初に「超音波の物理」という内容で波や音速や波長、反射や屈折等について、続いて、「超音波装置の物理」で各プローブの原理や特性、画像調整の様々な方法やアーチファクト等について、最後に「超音波ドプラ法 他」でドプラ法の基本原理と波形の意味や最大検出可能速度と視野深度等の講義であった。各セクションにおいてその都度例題の説明があり、わかりやすい解説であった。半日という短時間で超音波の基礎を全て網羅するには内容が多く厳しいかと思われたが、とてもわかりやすくまとめていただき充実した内容となった。

終了時間いっぱいまで講義を行ったため質疑応答の時間が取れなかったが、研修会終了後、何人かの受講生が熱心に講師の方に質問されており、超音波検査士の試験を間近に控えた受験生にとって、試験直前に超音波の基礎の見直しが効率よく行えた講習会になったと思われる。

(文責：横尾 愛)

平成28年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第11回 理事会議事録

日 時：平成29年 1月12日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家 7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)津田 神山 岡田 矢作 小山
奈良 猪浦 石井 松岡 小島
濱本 藤井 長澤 神嶋 伊藤
濱田 山口 鳥山 武関 阿部
(監事)遠藤 細谷

欠 席：(理事)島村 長岡

本日の理事会の出席者は22名であった。理事の出席者は20名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告 (平成28年12月8日～平成29年1月11日)

12月 8日(木)平成28年度公益社団法人第10回理事会：

津田、神山、島村、岡田、矢作、
小山、奈良、石井、松岡、小島、
濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、
濱田、山口、鳥山、武関、遠藤

12月26日(月)予算委員会：

津田、神山、島村、矢作、小山、
奈良、濱本、山口、松岡、小島、
石井

12月27日(火)平成29年賀詞交歓会・各賞受賞記念祝賀会事前準備：

藤井、長澤、神嶋

12月29日(木)事務所巡回及び事務処理：神山

12月30日(金)事務所巡回及び事務処理：小山

1月 2日(月)事務所巡回及び事務処理：矢作

1月 5日(木)日本衛生検査所関東甲信越支部・平成29年賀詞交歓会：津田

1月 6日(金)平成29年賀詞交歓会・各賞受賞記念祝賀会：

津田、神山、島村、岡田、矢作、
小山、奈良、猪浦、石井、松岡、
小島、濱本、藤井、長澤、神嶋、
伊藤、濱田、山口、鳥山、武関、
阿部、遠藤

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1)第2回埼玉県医師会新年会

～2017新春の集い～の出席について

津田会長、神山副会長、島村副会長が出席する事とした。

日時：平成29年 2月 4日(土) 18時～

会場：パレスホテル大宮 4階ローズホーム

2)埼玉臨床画像研究会への後援の回答をした。

3)1月 5日、日本衛生検査所関東甲信越支部・平成29年賀詞交歓会に津田会長が出席した。

4)平成29年日臨技新春賀詞交換会について

津田会長、神山副会長が出席する事とした。

日時：平成29年 1月27日(金) 18時30分～

会場：TKP品川ガーデンシティ

グリーンウィンド

5)彩の国連携力育成プロジェクト最終報告会～彩の国から発信～ Miraiをひらく連携力の後援の回答をした。

2 総務部

1)「埼臨技だより」第452号、1月15日発行予定

3 事業部

1)1月 6日、平成29年賀詞交歓会・各賞受賞記念祝賀会を開催した。

4 学術部

1)特になし。

5 精度保証部

1)特になし。

6 会計部

1)平成28年度正会員費 7名分35,000円、入金金 7名分7,000円、合計42,000円の入金があった。

2)生涯教育推進研修会助成金50,000円×1研修会、合計50,000円の入金があった。

3)埼臨技会誌Vol.162 No2 印刷代394,200円、だより第451号代163,987円、梱包代19,764円、合計577,951円を石井印刷へ振り込んだ。

7 精度管理委員会

1)特になし。

8 一都八県会長会議

1)特になし。

9 日臨技関甲信支部

1)平成29年度定時会員総会資格審査委員兼議事運営委員の選出について

矢作事務局長を選出した。

日時：平成29年 6月24日 (土) 10時～

会場：大森東急R E I ホテル

5階「フォレストルーム」

10 日臨技

1)特になし。

11 第45回埼玉県医学検査学会

1)特になし。

12 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会

1)特になし。

III. 承認事項**1 事務局**

1)会員動向(平成28年度分)

平成29年 1月 5日現在

会員数 2,754名

(新入会員253名[平成27年度会員数2,587名])

賛助会員 82社[平成27年度 79社]

承認された。

2 総務部

1)特になし。

3 事業部

1)特になし。

4 学術部

1)第45回埼玉県医学検査学会優秀発表賞受賞候補者について

承認された。

5 精度保証部

1)特になし。

6 会計部

1)平成29年賀詞交歓会・各賞受賞記念祝賀会会計報告について

承認された。

7 精度管理委員会

1)特になし。

8 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会

1)特になし。

IV. 議題

1 平成28年度臨時会員総会議案書について
標記の件について、矢作事務局長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

2 日臨技臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会事業について
標記の件について、矢作事務局長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会Aに、越谷市立病院 渋谷 賢一 氏を派遣することを出席理事全会一致で承認した。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

求人案内

○一般社団法人 浦和医師会メディカルセンター

採用条件：臨時職員（パート）
連絡先：048-824-1629 内線310
一般検査部 鈴木

○株式会社ビー・エム・エル BML総合研究所

採用条件：正職員
連絡先：0120-320-451
人事部人事課 加賀谷・瀬口

○医療法人社団 和風会 所沢中央病院

採用条件：正職員
連絡先：04-2994-1265 事務長 服部 貢

○順天堂越谷病院

採用条件：臨時職員（パート）
連絡先：048-975-0321 総務課 北林

○特定医療法人 俊仁会 埼玉よりい病院

採用条件：正職員
連絡先：048-579-2788 事務長 井上

○株式会社ピーシーエルジャパン 病理・細胞診センター

採用条件：正職員 臨時職員（パート）
連絡先：049-234-7310 人事課 古田島

○獨協医科大学越谷病院附属 腎・予防医学センター

採用条件：臨時職員（パート）
連絡先：048-965-9138
職員課 翠田（モドリタ）

○医療法人社団 秀栄会 所沢第一病院

採用条件：正職員 臨時職員（パート）
連絡先：04-2944-5800 内線215
管理課 宮野

○医療法人 大宮シティクリニック

採用条件：正職員 臨時職員（パート）
連絡先：048-645-1256 本部長 星野

○医療法人社団 協友会 彩の国東大宮メディカルセンター

採用条件：正職員
連絡先：048-665-6166
人事課 採用担当 大山

○医療法人社団 松弘会 三愛病院

採用条件：正職員
連絡先：048-866-1717
診療技術部長室 新木

○医療法人 刀圭会 本川越病院

採用条件：正職員
連絡先：049-222-0533 内線310
事務部長代理 瀬川

○医療法人社団 松弘会 トワーム小江戸病院

採用条件：正職員
連絡先：049-222-8111 事務長 風間

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

あ と が き

先月は最強の寒波が来たかと思うと、春先の陽気にも見舞われ、気温の変動が激しくこたえましたね。皆さん体調はいかがでしょう？ 1月25日現在のインフルエンザの統計では、埼玉は警報レベルの流行です。当院でもスタッフの陽性者が相次いでいます。

今年のインフルエンザワクチンは、A型2種（H3N2、H1N1）、B型2種（ビクトリア系統、山形系統）含まれていますが、この4種の中でワクチン効果が一番劣るのが、現在流行中のH3N2（香港型）との解析結果が出ています。これは、鶏卵でのワクチン製造過程で、元株からの抗原性変化が生じたことに起因しているようです。

ワクチン接種したから大丈夫！とはいかないようです。手洗い、うがいとマスクはもちろん、バランス良い食事としっかり休養をとることも心掛けてください。

（石井 記）

